

2024 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 中池見ねっと

1.事業の成果

■中池見湿地の保全に関する事業

【受託事業】

＊中池見人と自然のふれあいの里ビジターセンター運營業務並びに中池見湿地保全及び通路等維持業務
(2024 年 3 月～11 月)

2024 年度もふれあいの里の保安全管理業務を受託。施設の清掃、来館者・団体対応などと、センター周辺の木道周り、湿地内周遊路や駐車場などの保全作業などを行った。さらに、中池見盛り上げよう会などの協力を得ながら、囲炉裏番ボランティアによって囲炉裏の火を焚き、古民家の活用をはかった。

なお、2024 年度受託期間は 2024 年 5 月～2025 年 4 月(冬期 12・1・2 月を除く)

【自主事業】

＊中池見湿地トチカガミ復活プロジェクト

【2024 年度独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金助成事業 中池見湿地において野生絶滅したトチカガミの再導入および持続可能な保全活動組織の構築】

トチカガミは、近年福井県では中池見湿地のみで確認されていたが、2001 年を最後に野生絶滅となり、現在は当団体が域外保全している個体のみである。中池見湿地トチカガミ復活プロジェクトは、生態系への最大の脅威であるアメリカザリガニの低密度化と、調査や作業を継続的に進めていくための組織作りに向けたプロジェクトで、今年度でプロジェクト最終年の 3 年目となる。

このプロジェクトの大きな目標の一つであった栽培個体の野外への再導入については、残念ながらアメリカザリガニの密度が想定より下がらなかったため、畦シートによるザリガニ侵入防止柵の内側で行った。湿地内 2 カ所(栗木谷の池、トンボの池)に設置したザリガニ侵入防止柵はしっかりと

効果を発揮し、トチカガミは導入から数か月で柵内の水面を覆うほどに増殖。開花、結実、殖芽形成を確認したことに加え、シャジクモやフラスコモなどの希少な藻類の生育も確認されました。なお、実験的に柵外に導入した個体は葉が少なくなるなど明らかにザリガニによる加害を受けており、改めてザリガニによる水生生物への影響を実感させられた。



サポーターと畦シートを設置



畦シート内に茂るトチカガミ

アメリカザリガニ防除活動(「ザリガニマジで獲る！

チーム」の活動)では 3 年間で合計 45,749 匹のザ

リガニを防除した。3～11 月に設置したカゴワナで 17,365 匹、冬季休館中のすくい取りなどで 28,384 匹を防除し、当初目標としていた 3 年間合計 30500 匹を大きく上回る 45,749 匹を防除することができた。今年度は 1 地点あたりの捕獲数と総重量を計測しており、捕れたザリガニの重さは一年間で 77kg。一匹当たりの平均は 13.9g となりました。データと比較してあまり変化はなく、生息数の減少や小型化は起きていないとはいえない。

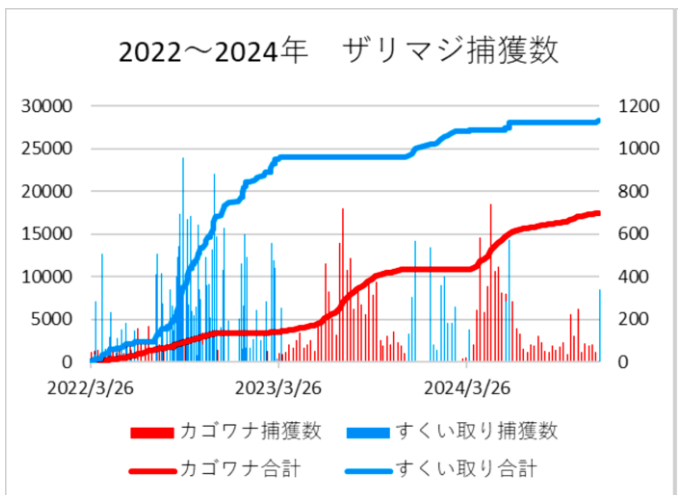
また、今年の夏は水路に多くのザリガニが生息しているにもかかわらずカゴワナに入らないという現象が

起きた。様々な工夫を行い、結果としてワナを新しいものと交換することで捕獲数が例年並みに回復。3年間継続的に活動を行ってきたことで、長い時間水中に設置していたワナの外装に藻類が発生し、ザリガニが中に入らなくなってしまったのではないかと考えている。

中池見で行っている様々な活動についてできるだけこまめに情報をお届けし、参加しやすくする仕組み「サポーターズバンク」には、2022年2月の立ち上げから現在までに142組252人(2024年12月31現在)が登録。自然観察会や「なかいけみカフェ」、生き物系 YouTuber マーシーさんのご協力などもあり、特にザリマジは毎回平均で5人以上のサポーターの方が参加しており、リピーターが活動の中心になって作業を行っている。ただ、251人のサポーターのうちこれまでに一度でも活動に参加したことがあるのは41組68人だけで、ザリマジの毎回の参加人数も目標には達していない。このようにメンバーの固定化は否めないものの、9月のザリガニマジで獲る！大会以後、少しずつ新メンバーの作業参加があることは明るい兆しといえる。



9/29 ザリガニマジで獲る！大会



なかいけみカフェ・自然観察会

2/11	なかいけみカフェ⑤ 野鳥を「もふもふ」のぬいぐるみにするには 吉田麻里子さん(もふもふ とり工房)
4/13	春の自然観察会 案内:藤野勇馬(中池見ねっと)
5/26	なかいけみカフェ⑥ 感じる植物染めのお話&こすり染めワークショップ 丸山梓さん 植物染め作家(noasobi)
6/8	トンボの観察会 講師:和田茂樹さん(日本トンボ学会会員)
7/28	なかいけみカフェ⑦ 「生き物屋は浮気者」 川村康平さん (名古屋大学大学院 理学研究科 博士前期課程1年)
8/24	夜の生き物観察&ザリガニ獲り 案内:藤野勇馬(中池見ねっと)
10/27	カヤネズミの巣を探してみよう 案内:上野山雅子(中池見ねっと)
11/24	なかいけみカフェ⑧ 「里山と海のつながりを探そう」 上塚千夏さん 前田和代さん (TeamCleanBlue)
12/21	なかいけみカフェ⑨ 「中池見湿地とオカリナと」paludeさん (オカリナ奏者、中池見と音楽を愛する会)

*ミニ田んぼサポーター事業

2024年度の申し込みは24組。

田植え前の準備、畦の整備、水口や電気柵の修繕の増設、稲架立て、稲架の解体まで、ミニ田んぼサポーターで行うことができた。田植え直後にシカの食害にあったものの、その後は電気柵の上に麻ひもをかけていただくなどしたことで食害がなくなり、無事に育った。区画当たりの平均収量は約3.8kgだった。

ミニ田んぼ内ではデンジソウ、ミズアオイ、ヒメビシ、ミズトラノオ、ヤナギヌカボ、マルバノサトウガラシ、シソクサ、ウスゲチョウジタデ、キタノメダカ、トノサマガエル、オオタニシ、クロゲンゴロウ、などの絶滅危惧種が確認できた。特にミズアオイは、草取りの際にとったものを田んぼの水路に植えるなどしたものが、9月には見事に咲き、来園者に喜ばれた。

*企業ボランティア対応

敦賀気比高等学校附属中学校と株式会社アイシン福井による、生物多様性保全のための田んぼづくり。今年は田植え紐を使って田植えを行うことで、田植え作業および草取りが格段にやりやすくなった。また、これまでの早稲のハナエチゼンを植えていたが、学校行事との兼ね合いもあり2週間時期の遅いコシヒカリを植えた。適時に田植え稲刈りができたこと、台風に当たらなかったことで、稲が倒れることもなく、24kgの収量があった。また、イチヨウウキゴケやミズアオイやミズトラノオも多く確認した。

■環境教育・グリーンツーリズム事業

【自主事業】

*中池見ジュニアレンジャー

中池見湿地の保全のための人材育成の場として、毎月一度小中学生を中心に活動。5年目となる2024年度も毎月調査活動を行った。1年間の調査や観察で学んだり感じたことは、昨年度同様に2025年2月の「みんなで報告会」で発表。

1月21日(日)	カマキリの卵調査
2月18日(日)	カエルの卵塊調査 まとめと発表の分担
3月17日(日)	イモリ調査
5月19日(日)	ノハナショウブ&クサレダマ調査
6月9日(日)・7月6日(土)	ホタル調査(当日荒天のため中止、後日一般向けホタル観察会に参加)
7月21日(日)	後谷水生生物調査
9月15日(日)	ミニ田んぼ植物調査
10月20日(日)	蛇谷植生調査
11月17日(日)	カヤネズミ調査
12月15日(日)	ヒメヒラマキミズマイマイ&コガタウズムシ調査

*「残そう・伝えよう！」生きもの保全事業 【福井県補助金事業】

敦賀市立角鹿小学校の児童の皆さんと共に、中池見湿地の希少な生き物を守る取り組みを行った。

[5年生]

センター前の田んぼで、生き物学校田の田んぼづくり。

今年も田植え～稲刈り、脱穀、粃摺りも手作業で行い、育てた稲穂がお米になる流れを体験していた。

[3年生]

出前授業による事前学習を行い、後谷での生き物調べを6月と10月に行った。現在、鉄道運輸機構が仮設のパイプで水路から導水して田んぼに水を入れてくれたことで、クロゲンゴロウやアカハライモリは戻ってきたが、モートナイトトンボは未だ確認できていない。また休耕しているため背の高い草が生え、ホシクサやアブノメも確認しづらくなっていた。調べた結果は春・秋の生き物、植物、絶滅危惧種など8項目のテーマでまとめられ、11月のオープンスクールで班別に発表された。発表内容は、東郷公民館エントランスにて、2月7日から約10日間展示した。

*ビジターセンター生体展示・カメハウス

中池見人と自然のふれあいの里・ビジターセンターに水槽スペースを借りての生体展示、またセンター前に設置したカメハウスの維持・管理を行った。

*中池見ナイトウォッチング・内池見観察会

6/29・7/6 中池見ナイトウォッチング

2020 年ころから水位が不安定だった後谷の田んぼも、JRTT が設置してくれた導水管のおかげで今年はしっかり水が入り、たくさんのハイケボタルを見ることができた。ホタル観賞後には生き物探し。田んぼにはトノサマガエルやイモリなど生き物が沢山いて、少し目線を上げると木の上にモリアオガエルを見つけることもできました。

ホタル観賞が終わったら生き物探し！田んぼにはトノサマガエル、アカハライモリ、木の上にモリアオガエル、道すがらニホンシガメにも遭遇、林縁部にはこれまで中池見では知られていなかったヤコウタケも見ることができた。

9/28 内池見観察会

内池見の休耕田で地主さんのご了解をいただき自然観察会を行った。内池見は中池見湿地の北側に隣接する小さな谷部の水田地帯だが、中池見湿地と共通する湿地の生き物たちも見られる。この日は中池見湿地でも最近では少なくなってきた水生昆虫のタイコウチやガムシなどが見られ、ヒメビシも確認、まだ花を咲かせていた。内池見もまた大事な場所だと認識を改める機会となった。

*湿地ガイド

2021 年度より有料で行い、各団体・個人の要望に応じて内容やガイドのコースを組立てている。本年は、保育園、小中学校、団体、個人など、14 件 335 名に対して、それぞれのニーズに対応した。

*出前講座

身近な生き物に触れたり、中池見湿地についてご紹介する内容での出前講座を、5 つの学校や保育園で実施した。

*会報発行

会報 59 号を発行した。(12 月)

*グッズ販売(生き物カード、田んぼの生き物ハンドブック、ポストカード、T シャツ他)

今年度は、ザリガニマジで獲る！大会の開催に合わせて、ザリマジ手ぬぐいを作成、大会の参加賞としたほか、T シャツと共に環境フェアにて販売。

中池見湿地の四季を集めたポストカードセットは、JR 敦賀駅の横「ちえなみき」にて販売中。

プリントイメージ
CAB-5900-01 カナリアイエロー M サイズ



※ザリマジ T シャツは、オリジナルグッズ販売サイト“SUZURI”でも販売しています。右の QR コードよりアクセスできます。

■環境保全に関する普及啓発事業



SUZURI

【自主事業】

＊ホームページ、SNS 配信

ブログ、Facebook、X(旧 Twitter)、で随時活動を発信した。

＊メディア取材対応

7/27 放送 NHK 中部「改良メダカブームの陰」

9/10 NHK 福井ニュースザウルス福井の投稿写真コーナー

9/29 YouTube「マーシーの獲ったり狩ったり」

ザリガニマジで獲る！大会を動画配信用に取材撮影

＊展示ブース出展

今年は敦賀市内の4か所で中池見湿地を紹介する展示を行った。

・1/15～1/22 市役所 1F ロビーにて展示(中池見と音楽を愛する会と共催)

・3/11～8/31 日本海さかな街にて、「春」と「夏」の展示

・6/10～6/19 市役所 1 階ロビーにて展示(中池見と音楽を愛する会と共催)

・10/11～10/13 敦賀市 東郷公民館の文化展に出展。

・11/23 「つるが環境フェア 2024」にて、「特別展示」を担当。

＊その他、他団体との連携

・2/18 北陸新幹線、中池見湿地付近モニタリング調査等フォローアップ委員会、オブザーバー参加

・4/15 中池見湿地保全活用協議会への出席

藤野理事が委員として出席、後谷の湿地再生に向けて議論を深める場として、分科会を設置することになった。あわせて藤野理事が分科会の会長として任命された。

・5/10～ 後谷湿地再生検討分科会、全7回のリモートによる会議と2回の現地視察を開催。

・1/26、4/12、7/12、10/11 中池見盛り上げよう会開催。

ラムサール条約登録10周年記念実行委員会から、10周年をきっかけにさらに中池見湿地の活用について情報交換、協力し合っていくことを目的として、中池見盛り上げよう会に名称変更し、年に4回のリモートによるミーティングを開催。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲および人数
中池見湿地の保全に関する事業	受託事業	施設管理、来園者・団体対応、草刈り、樹木管理等整備保全管理業務	3/1～11/30	中池見人と自然のふれあいの里	9人	中池見人と自然のふれあいの里来園者
	自主事業	水位調査	4/15	笹鼻江	1人	一般
		トチカガミ復活プロジェクト (2024年度 独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金助成) *サポーターズバンク ザリガニマジで獲る! チーム *なかいけみカフェ *自然観察会 *みんなで報告会 *子ども向け環境保全パンフレット作成	1/14、1/20、1/27、 2/3、2/10、2/11、2/17、2/24 3/2、3/9、3/16、3/20、3/23、 3/30 4/6、4/13、4/20、4/27、 5/4、5/11、5/18、5/25、5/26 6/1、6/8、6/15、6/22、6/29、 7/6、7/13、7/20、7/27、7/28 8/3、8/10、8/17、8/24、8/31、 9/7、9/14、9/21、9/28、9/29、 10/5、10/12、10/19、10/26、 10/27 11/2、11/9、11/16、11/23、 11/24、11/30、 12/7、12/14、12/21	中池見湿地 全域	7人	352名 および 敦賀市内 小学生
		ミニ田んぼサポーター事業	3/30、3/31、4/27、4/28、4/29、 5/2、5/5、5/14、8/4、8/17、8/18、 8/20、8/21、8/22、8/24、8/25、 8/31、9/1、9/7、9/14、9/15、 9/16、11/16	センター前 水田	5人	261名
		企業ボランティア対応 (敦賀気比高等学校附属中学校含む)	5/17、6/21、7/12、9/13、9/26	センター前 水田	2人	82名

定款の事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲および人数
環境教育・グリーンツーリズム事業	自主事業	中池見ジュニアレンジャー	1/21、2/18、3/17、3/20、5/19、6/9、6/22、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15	中池見湿地全域	3人	98名
		「残そう・伝えよう」生きもの保全事業（福井県補助金事業）	5/3、5/9、6/10、6/19、8/28、10/9、9/26、10/9、11/11、11/26、12/16	センター前水田、後谷、角鹿小学校	7人	敦賀市立角鹿小学校 3・5年生
		ビジターセンター生体展示、カメハウスの管理	1/5、1/14、1/20、2/17、3/2、3/9、3/16、3/30、3/31、4/6、4/13、4/20、4/27、5/3、5/18、6/1、6/8、6/22、6/29、7/6、7/13、7/20、8/3、8/10、8/17、8/25、8/31、9/14、9/21、9/28、10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/24、12/7、12/13、12/26	中池見人と自然のふれあいの里	3人	来園者
		自然観察会（ナイトウォッチングほか）	4/13、6/29、7/6、9/28	中池見湿地全域	7人	71名
	自主事業	湿地ガイド（個人団体有償ガイド）	3/10、5/14、5/22、5/23、6/1、7/1、7/23、10/5、10/11、10/17、10/19、10/22、10/29、11/2	中池見湿地全域	3人	335名
		出前講座など	4/24、5/16、5/20、5/21、6/10、10/18	敦賀市市内	4人	93名
		会報発行	第59号発行（12月）	—	7人	一般および 会員67名、 15団体
		グッズ販売（生き物カード、田んぼの生き物ハンドブック、ポストカード、Tシャツ他）	随時	観察会やイベント会場	6人	一般
環境保全に関する普及啓発事業	自主事業	ホームページ、SNS 配信	随時	WEB	4人	一般
		メディア取材対応	テレビ取材 1本、 動画配信 1本	中池見湿地全域	4人	一般
		展示ブース出展	1/15～1/22、3/11～8/31、 6/10～6/14、10/11～10/13、 11/23	敦賀市内	6人	一般
		他団体との連携（中池見湿地保全活用協議会分科会、中池見盛り上げよう会ほか）	1/29、2/18、4/12、5/10、 5/30、6/18、7/11、7/12、8/1、 8/28、10/9、10/11、10/22、 11/14、	リモート、市役所など	6人	一般

(2)その他の事業
なし

3.理事会および総会に関する事項

理 事 会 総 会	実施日時	実施場所	出席者数	議決事項
理 事 会	2月2日(金) 13:00～15:00	中池見ねっと 事務所・リモート (敦賀市樫曲)	総数 9 名 理事総数 7 名中 7 名出席、 監事 2 名出席	・2023年度事業報告及び決算 ・2024年度事業計画及び予算 ・役員改選について
総 会	3月1日(金) 19:00～20:30	プラザ萬象 第3会議室 (敦賀市東洋町)	総数 16 名(内、 委任出席 4 名) 理事総数 7 名中 7 名出席 監事 2 名出席	第1号議案 2023 年度事業報告 第2号議案 2023 年度収支報告(監査 報告を含む) 第3号議案 2024 年度事業計画(案) 第4号議案 2024 年度予算(案) 第5号議案 2024 年度事業計画と予算 変更について 第6号議案 役員任期満了および選任
理 事 会	4月1日(月) 19:00～20:00	中池見ねっと 事務所・リモート (敦賀市樫曲)	総 9 名 理事総数 7 名中 7 名出席、 監事 2 名出席	・代表理事の改選
理 事 会	10月11日(金) 13:30～15:00	中池見ねっと 事務所・リモート (敦賀市樫曲)	総 9 名 理事総数 7 名中 6 名出席、 監事 2 名出席	・事務所エアコン設置の件 ・内池見大規模蓄電施設計画の件